

# 越前町役場 新庁舎

新庁舎の各階配置計画・内観  
仕上げイメージをご紹介します

## 2 1階 ロビー



ゆとりのあるロビー空間を確保し、各課ごとに色を区別することにより、窓口の分かりやすい動線とします。明るいイメージの中、カウンターには木材を活用して暖かみを持たせます。

## 1 1階 エントランスホール



エントランスホールは、3階まで吹抜けて開放感のある空間を演出します。エントランスホールの左側にスペースを設け、くつろぎの場やイベントなど多目的に活用できます。

## 4 2階 応接室



西側の壁全面に、越前焼タイルを使用し、お客様をもてなします。

## 3 2階 渡り廊下 → 会議室



吹抜けに接する場所には、手摺りを設置します。会議室の壁も木材を活用することで、色合いに統一感を持たせます。

## 6 3階 議場

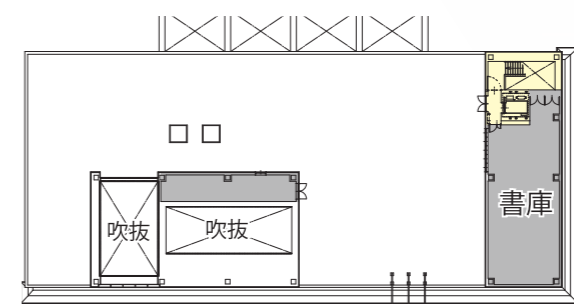
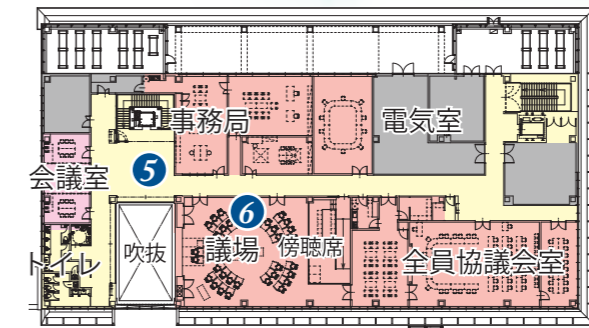
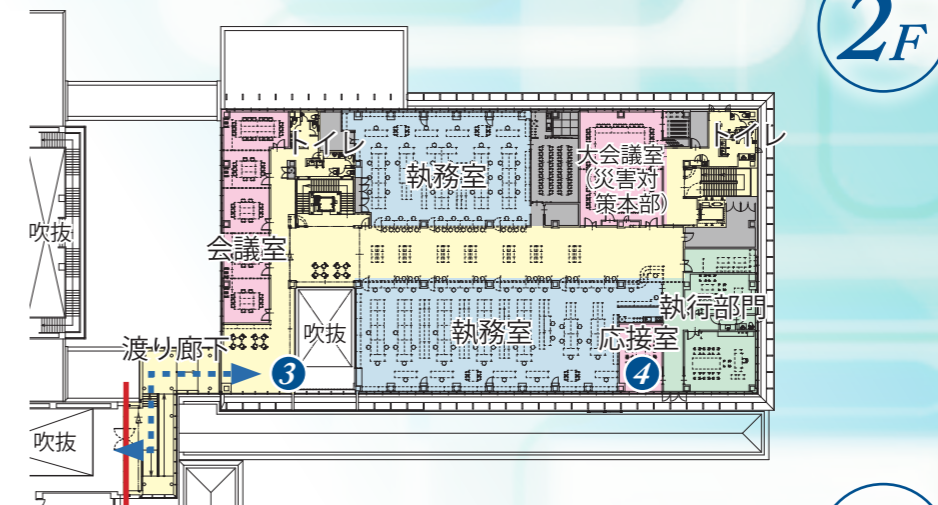
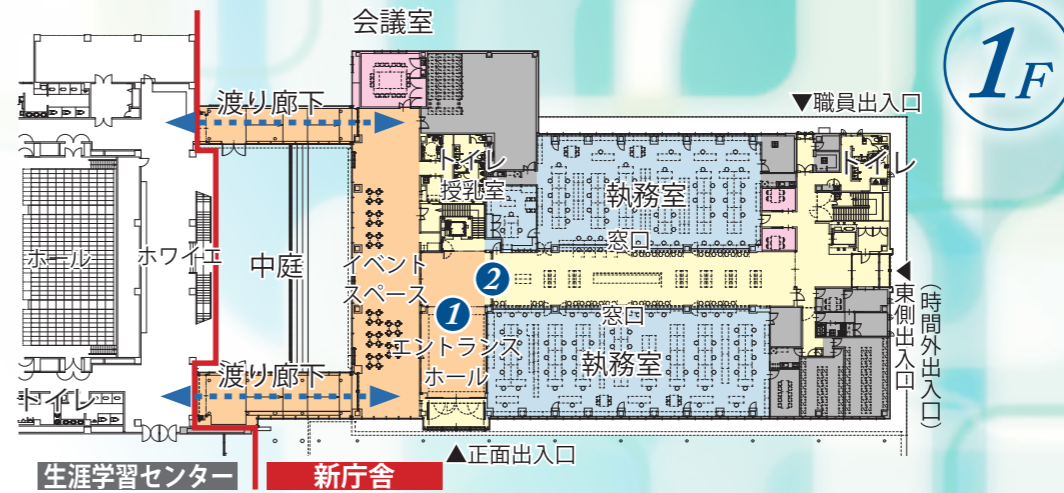


議場は円形を採用することで活発な議論が期待されます。天井や壁の仕上げは木材を活用し、正面には越前焼タイルを用い、落ち着いた雰囲気の仕上がりになります。

## 5 3階 ロビー → 議会各室



天井は吹抜け部分と同様のデザインを採用します。議場、全員協議会室に向かう廊下の床は、色合いを分けたタイルカーペットを使用します。



新庁舎の外観は、町内に残る伝統的な民家の意匠をモチーフとして、水平な軒先のある屋根と格子状の梁と柱を表現しています。内観は、漆喰の白壁や格子状の黒い梁や柱をイメージとした仕上げを取り入れる予定です。

また、エントランスホール、イベントスペース、会議室や議会フロアなど、町民のみなさんの活動エリアには、越前焼のタイルや手洗鉢、町産材の木材など地元産材を随所に活用します。

一方で、執務室エリアは、簡素で明るさを持ったイメージにするなど、メリハリをつけた内観仕上げを計画しています。

